

ノルウェーの政策金利引き下げについて

ポイント① 政策金利を0.5%へ引き下げ

3月17日、ノルウェー中央銀行は政策金利である預金金利を0.25%引き下げ、過去最低の0.5%としました。利下げは2015年9月以来、3会合ぶりとなります。

同中銀は、前回2015年12月会合で、「景気がほぼ予想通りに推移すれば、2016年上半期に政策金利を引き下げの可能性がある」と追加利下げを示唆していました。また、同中銀のオルセン総裁は、「次回2016年3月の金融政策決定会合での利下げ確率は50%以上」と述べており、市場参加者は概ね今回の利下げを予想していました。

ポイント② 予想以上に弱い経済成長が背景

今回の利下げ決定の背景には、原油価格の下落などを受けた、ノルウェー経済の予想以上の弱含みがあります。同中銀は、「ノルウェー経済の推移は予想よりも弱く、失業率には上昇圧力がかかっている」と述べています。また、「2016年の賃金上昇率は昨年を下回る見通し」としています。

一方、インフレ率については、「クローネの下落が消費者物価インフレ率を押し上げた」と指摘しています。2月の消費者物価指数は前年同月比+3.1%と、同中銀の目標インフレ率(2.5%)を上回りました。ただ、「インフレ期待は十分抑制されており、クローネ下落の影響が緩和するにつれて、インフレ率は低下する」との見方を示しました。

ポイント③ 年内のさらなる利下げを示唆

同中銀は、政策金利は2016年末に0.25%近辺へ低下するとの見通しも示し、年内の追加利下げを示唆しました。また、「金利の低下は金融システムの脆弱性を増す」と慎重なスタンスを示しつつも、「ノルウェー経済が新たなショックにさらされれば、政策金利がマイナスとなる可能性を排除しない」とし、マイナス金利導入の可能性にも言及しました。

足元、原油価格底入れの兆しもあり、同日のニューヨーク外国為替市場では、ノルウェー・クローネは対円で前日比0.5%程度、対米ドルで同1.6%程度のクローネ高となりました。

図1：政策金利の推移

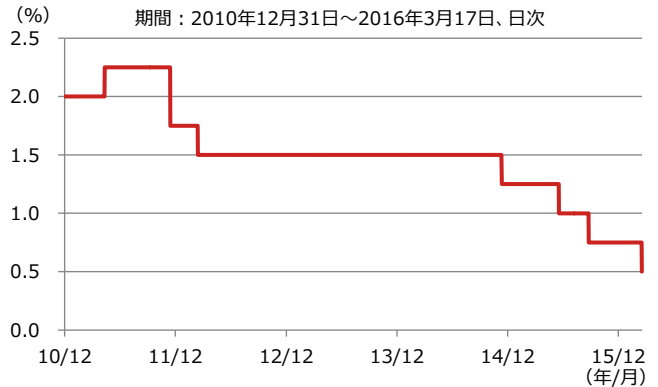


図2：ノルウェー・クローネの推移

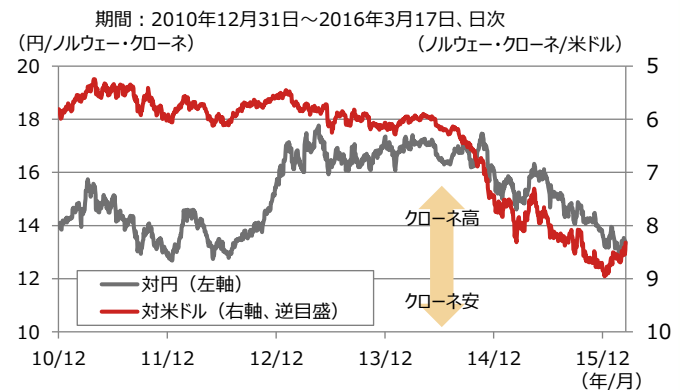
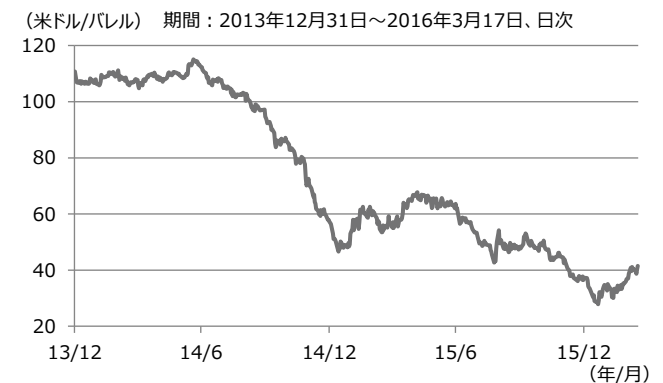


図3：北海ブレント原油先物価格の推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

3月31日 小売売上高 (2月)
4月7日 鉱工業生産指数 (2月)
4月11日 消費者物価指数 (3月)